

市民の安全・安心に関する施策の充実

本市の犯罪発生件数は、地域や警察など関係機関等との連携のもと、地域住民の防犯意識の醸成をはじめ、自主防犯組織「生活安全パトロール隊」の活動や警察によるパトロール強化などを重ねてきた結果、平成 14 年（40,389 件）をピークに 9 年連続で減少し、平成 23 年には 14,045 件（暫定値）と、ピーク時の 34.8%まで減少している。

しかし、市内では、暴力団の犯行と思われる発砲事件が続けて発生しており、防犯・暴力追放運動の推進など、市民の安全・安心に対する要望が強い。

また、災害対策、子どもの安全対策など、引き続き、市民生活の安全の確保に取り組むこととしており、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指した予算となっている。

◆ 安全・安心関連事業予算の特徴（主要事業）

暴力追放運動の推進

市の事業からの暴力団の排除をはじめ、暴力追放大会の実施や、警察等と連携した暴力団排除のための活動に取り組む市民等への安全確保に向けた支援等、官民一体となった活動を強化する。また、防犯カメラの設置により、各種犯罪を抑制し、市民生活の安全・安心を確保するとともに、都市イメージの向上をめざす。

新規 ■防犯カメラ設置事業【市民文化スポーツ局】 154 百万円
各種犯罪を抑制し、市民生活等の安全・安心を確保するとともに、都市イメージの向上を図るため、防犯カメラを市内主要幹線道路 25 ヶ所に、計 100 台設置する。

■暴力追放運動の推進【市民文化スポーツ局】 53 百万円

災害対策の強化

建築物の耐震診断・改修や災害対策をより一層強化するとともに、民間施設への補助を拡充。

- 東日本大震災復興支援事業【総務企画局】 82百万円
岩手県釜石市役所内に設置している「北九州市・釜石デスク」を活用しながら、主に釜石市を中心に本市の特徴や強みを活かした被災地支援を引き続き行う。

(1) 耐震診断・改修の推進

【公共施設】

- 学校施設耐震補強事業【教育委員会】 1,594百万円
(他に債務負担 474百万円)
- 橋梁長寿命化事業【建設局】 1,990百万円
- 都市モノレール長寿命化事業【建築都市局】 1,100百万円
- 新規** ■生涯学習センター長寿命化等改修工事【教育委員会】
(うち耐震補強) 175百万円
- 新規** ■総合体育館耐震補強事業【市民文化スポーツ局】 29百万円

【民間施設】

- 民間建築物耐震改修等補助事業【建築都市局】 147百万円

(2) 災害対策

- 水害から市民を守る緊急整備事業【建設局】 3,388百万円
平成21年7月、平成22年7月の豪雨による浸水被害を踏まえ、従来の事業に加え、平成22年度から5年間で河川や下水道の緊急整備を集中的に取り組む。

- 新規** ■学校体育館防災機能強化推進事業【教育委員会】 260百万円
災害時の避難所として機能している学校体育館のトイレ改修及びスロープ・備蓄倉庫の設置。

地域防犯活動の推進

市民の自主防犯意識の醸成を図るとともに、地域の自主防犯組織への支援等を行い、「安全・安心なまち北九州市」の実現を図る。

- 地域防犯対策事業【市民文化スポーツ局】 40百万円

夜間の安全対策

夜間の犯罪発生を防止し、通行の安全を図るため、市や自治会などが設置する防犯灯について、環境にやさしいLED防犯灯等の整備促進を図る。

- 防犯灯関連事業【市民文化スポーツ局】 300百万円

子どもの安全対策の推進

- 新規** ■「(仮称)北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」設置運営事業【子ども家庭局】 1百万円
関係機関で構成するネットワークを組織し、地域全体として青少年を見守る活動を推進するため、「(仮称)北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」を設置する。
- 新規** ■青少年健全育成深夜防犯パトロール事業【子ども家庭局】 18百万円
深夜はいかいいにより補導される少年を減少させ、暴力団からの勧誘や犯罪等に巻き込まれることを抑止する。また、生活のリズムを取り戻すことにより、青少年の健全な生活を確保する。
- 新規** ■子どものための防災・安全対策推進事業【教育委員会】 12百万円
学校における防災・安全教育に関する取組みを強化するため、防災・安全教育に関する指導用資料やDVD教材、児童生徒のための災害時連絡カードを作成・配布し、防災・安全教育の定着と推進を図るとともに、家庭や地域への啓発も行う。

その他関連施策

- 新規** ■八幡東消防署移転新築【消防局】 10百万円
老朽・狭隘化した八幡東消防署の移転新築のため、基本設計等を行う。